

車両の概要

京王線

■9000系

2001（平13）年1月に営業運転を開始した新型車両。ステンレス車両で8000系よりもさらに軽量化し、VVVFインバータ制御の採用とあわせて一層の省エネルギー化を図りました。車内はドアの上部に次の停車駅を知らせる電光表示板や、ドアの開閉を知らせるチャイムを設置し、車いすスペースを1編成中2カ所に設置しています。また、一人あたりの座席幅を従来より広げるなど、一層快適で利用しやすい車両となりました。

※2001（平13）年グッド・デザイン賞に選定



在籍車両数 64両

■8000系

1992（平4）年に登場。6000系入線以来、約20年ぶりのフルモデルチェンジ車。軽量ステンレス車体構造・各機器のコンパクト化による軽量化および当社初のVVVFインバータ制御装置の採用などで省エネルギー化を図りました。車内は座席にバケットシートを使用し、ドアの上部に電光表示板とドアチャイムを設置しているほか、1編成中1～2カ所に車いすスペースを設置しています。

※1992（平4）年グッド・デザイン賞に選定



在籍車両数 244両

■7000系

1984（昭59）年に登場した京王線初のステンレス車両。6000系を基本として設計していますが、正面のデザインは左右対称となったほか、前照灯も角形で尾灯と一体となりました。また、一部の車両は車体のリニューアルに合わせ制御装置を順次VVVFインバータに更新しています。



在籍車両数 190両

■6000系

1972（昭47）年に登場した当社初の大型20m車両。この車両からドアは4扉となりました。また、この車両は都営新宿線へも乗り入れ運転しています。



在籍車両数 200両

井の頭線

■1000系

1996（平8）年1月に営業運転を開始した井の頭線初の大型20m4扉車両。ステンレス車両で、京王線の8000系車両と同様にVVVFインバータ制御装置を採用しています。車内は座席にバケットシートを使用し、1編成中1カ所に車いすスペースを設置しています。なお、正面は、レインボーカラーを継承しています。



在籍車両数 75両

■3000系

1962（昭37）年に登場した井の頭線用のステンレス車両。外観の特徴は、先頭車の正面をレインボーカラーとしたことです。1971（昭46）年から5両編成が登場し、1978（昭53）年にはすべて5両編成となりました。また、1995（平7）年からはリフォームした車両を運転しています。



在籍車両数 70両